

# 教育委員会のことば

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年とは違った卒業証書授与式とりましたが、今日は皆さんにとって中学校を卒業する日であると同時に、未来に向かって旅立つ日であることに変わりはありません。

その門出にあたり、教育委員会からはなむけの言葉を贈ります。氏家・喜連川の両中学校には、心に残る校訓ともいえる言葉があります。皆さんへのはなむけにその話をさせていただきます。

まず、氏家中学校の「時を守り 場を清め 礼を尽くす」という言葉です。「時を守る」とは文字どおり時間を守ることですが、相手を尊重することや自分が信用される人間になることへの教えが込められています。「場を清め」は、掃除をすることで場も心も清められ、物事が整っていくという意味があります。「礼を尽くす」は、日々の生活の基本として、あいさつによって互いに心を開き、相手を受け入れる心を持つことの大切さを意味します。

次に、喜連川中学校の「健康」「立志」「自覚」という言葉です。「健康」は何物にも代えがたい宝です。それを当たり前と思わず、日々身体と心づくりを行っていくことが大切です。「立志」は志＝目的をもって生きることの意味です。14歳の立志式は記憶に新しいところですが、物事の結果のみでなく、志を遂げるまでの努力や辛抱も大切な財産となります。「自覚」は、自分自身がはっきりと知ることです。そのためには自ら行動し、そこから得た思いや学びを心に刻むことが大切です。

さて、卒業生の皆さん、いつも当たり前のように目にし、何度も口にしたこれらの言葉には深い意味があり、これからの人生を生きていく上で大きな示唆を与えてくれる、とても素敵な言葉だと思います。いつまでも皆さんの心の中に留めおいてください。

結びに、子どもたちを温かく見守り、愛情を込めて育ててくださった保護者の皆様、校長先生はじめ教職員の皆様、そして学校に関わってくださった全ての方々に感謝申し上げますとともに、卒業生の皆さんの輝かしい未来に幸あれと祈念して、教育委員会のことばといたします。

令和2年3月7日

さくら市教育委員会

※ 表紙の「翔」の文字は「と」「び」「た」「て」のひらがなで構成されています。